

◎ 企画総務部

地域の目指す 将来像	目 標	事 業 計 画	事 業 実 績	成 果 と 課 題
にぎわう 地域づくり	生活基盤 整備の推 進	鶴ヶ岡中心地構想の実現に 向けた取組	3/7 鶴ヶ岡中心地構想についての提案書を南丹市 へ提出 8/29 親水公園整備の申請が認可された	親水公園整備の決定に伴い中心地に住民が集うこと により、中心地構想に関心を持ってもらうことで、具現 化に向けて繋げる事が出来た
	定住促進	南丹市定住促進サポートセン ター、美山ふるさと(株)、里の 公共員との連携	里の公共員による発信が出来た 将来の定住促進に向けて農村民泊、技の伝承教 室などが実施できた	定住促進活動は継続的に実施しているが実現には至 っていない 連携先も含めたあり方が課題である
	農村民宿 の促進	農村民宿受け入れ家庭の増加に 向けての取り組み	農村民泊の実施 5/10～11(火・水) S 中学校 9/24～25(土・日) M 小学校 9/30～10/1(金・土) H 中学校 11/8～9 (火・水)T中学校	受入家庭の一定拡大が出来た 将来のIターンにつなげる 昨年より1校受け入れが増加した 実施曜日により受け入れに偏りが出る 大字単位での取り組みが課題である
やすらぐ 地域づくり	高齢者を 支える住 民参画の 地域づく り	『鶴ヶ岡住み続けられる町づく り推進会議』との連携 高齢者移送サービス事業の 推進	11/7～14 ゴルフカートによる移送実証実験 タブレットによる高齢者見守り実証実験 12/9 説明会 3月末まで実施 高齢者移送サービスをタナセンに委託実施	鶴ヶ岡の高齢者対策に多方面から関心が寄せられ、2 件の実証実験が実施できた 高齢者のニーズに合わせた事業を考える 利用者数が増えない 利用者の増加に向けての事業 のやり方を考える
	原子力防 災も含め た安心・ 安全な地 域づくり	南丹市、消防団、警察との連 携による地域防 災力の強化	9/4(日)南丹市防災訓練に参加	防災訓練に参加し防災意識の向上を図った 振興会の防災連絡網を活用した訓練の実施が課題で ある

つながる 地域づくり	小学校の 利活用	小学校活用室と連携し活用の具現化を推進	技の伝承教室開催 4 講開催 会議場、イベント会場としての活用	旧小学校の活用が出来た 地域住民の思いに沿った活用を継続していく事が今後の課題である
	住民要望 の実現	各補助事業の活用(京都府、南丹市、赤い羽根基金、他)を図り、集落要望の実現を目指す	集落の要望箇所73件(うち新規19件)を現地調査 6/5(火) 南丹市と振興会合同調査	京都府4箇所(全て公募型)、南丹市10箇所が採択、経過観察箇所については、引続き要望していく
	集落・各 団体等と の連携強 化	地域づくり連絡協議会において地域内活動の連携強化を図る	『鶴ヶ岡住み続けられる町づくり推進会議』と 合同開催 3 回実施	各地域と団体の行事計画を掌握する事が出来た 今後も行事の重複が起きないように調整を行っていく 事が大事である
	情報発 信・収集 機能の充 実	振興会新聞の定期発行	毎号編集委員会を開催して誌面の充実に努め 10 回発行(H29.4.月号まで) 6回の特別号の発行	地域住民の皆さんに情報の発信を行う事が出来た 今後も継続した情報発信を行っていく 校正期間が十分にとれない現状があり今後の課題である
		鶴ヶ岡地域アピール冊子の検討	鶴ヶ岡地域の魅力を発信していくアピール冊子を 製作していく予定だったが、実現できなかった	部会での取り組みが出来なかった 次年度での取り組みをお願いしたい
		フェイスブックとホームページの 充実、更新	京都府里の公共員の協力のもと、事業ごとの更新 が出来た(フェイスブック) ホームページ(稼働中)	フェイスブックについて、「いいね」を押してもらえる数 が当初に比べ増えてきている、シェアされる数も増えて きているので、関心が高まっているように思われる 定期的な更新を図るうえで、より広い分野からの情報 収集の体制が必要である